



平成26年7月15日

2	3	面	特集	新公民館平面図
案公表	4	面	フォレストアドベンチャー体験記	
5	面	みんなで仲良く・情報		
6	面	スポーツ		
7	面	松川青年の家だより		
8	面	まつかわ大学・俳句		
視点・ペンペン草				
8	面	こどもの詩・短歌		



まつかわ百景 ⑧2

「ほたるの里」(松川自治会)

地元の壮年団が、子どもたちの記憶に残る思い出づくりのために環境整備を行い、復活させたほたるの里

日頃はリフレッシュダウンまつかわの里をご愛顧賜りまして誠にありがとうございます。
清流苑を中心とした、およりの森を「癒しの空間に」を合言葉に、ホタルの会、もみじの会、百合の会、片桐松川へ桜を育てる会、など地域の皆さまのお力をいただき毎年少しずつ整備をしてきました。

この取り組みを全国に発信するため、森林セラピー基地へ申請し、昨年3月に認可され、癒しの森として登録されました。今年度は、「癒し」プラス「遊び」をテーマにフォレストアドベンチャー・松川を設置いたしました。フランス語の[La foret de l'aventure]。直訳すると【冒険の森】。

主張

フォレスト アドベンチャー・松川

ALTTUS社が持つ施設基準に準じた設計となります。その理由はこの基準が、ALTTUS社がすでに50以上の事例を持ち、安全基準と望まれる日常のオペレーション水準もルーIALIZEDされており、その安全性は、ALTTUSのパークでは過去に重大な事故は発生していないということで証明されています。

パークの最大の特徴は、自然の立ち木をそのまま利用したコースとなっていることです。木の上に作られたプラットホームと呼ばれる足場に登り、そこから別の木へ空中を移動していきます。松川の場合4コース、41のアクティビティがあり、所要時間は、約2時間以上楽しむことができます。きつと見たことのない、

1997年にフランス・ヌヌシー郊外でALTTUS社がはじめた森のレジャー施設の名前です。当初は企業研修用施設でしたが、フランス国内で人気を広がり、現在では森のレジャー施設は、200以上あるといわれています。

感じたことのない体験に、びっくりするくらい森が好きになること間違いなしです。森の中で、おっきな声で叫んで、森の冒険者となつて、楽しんでいただければなあと思います。どうぞお楽しみに！

日本版「冒険の森」
【FOREST ADVENTURE】が

まつかわの里総支配人

北沢 秀公

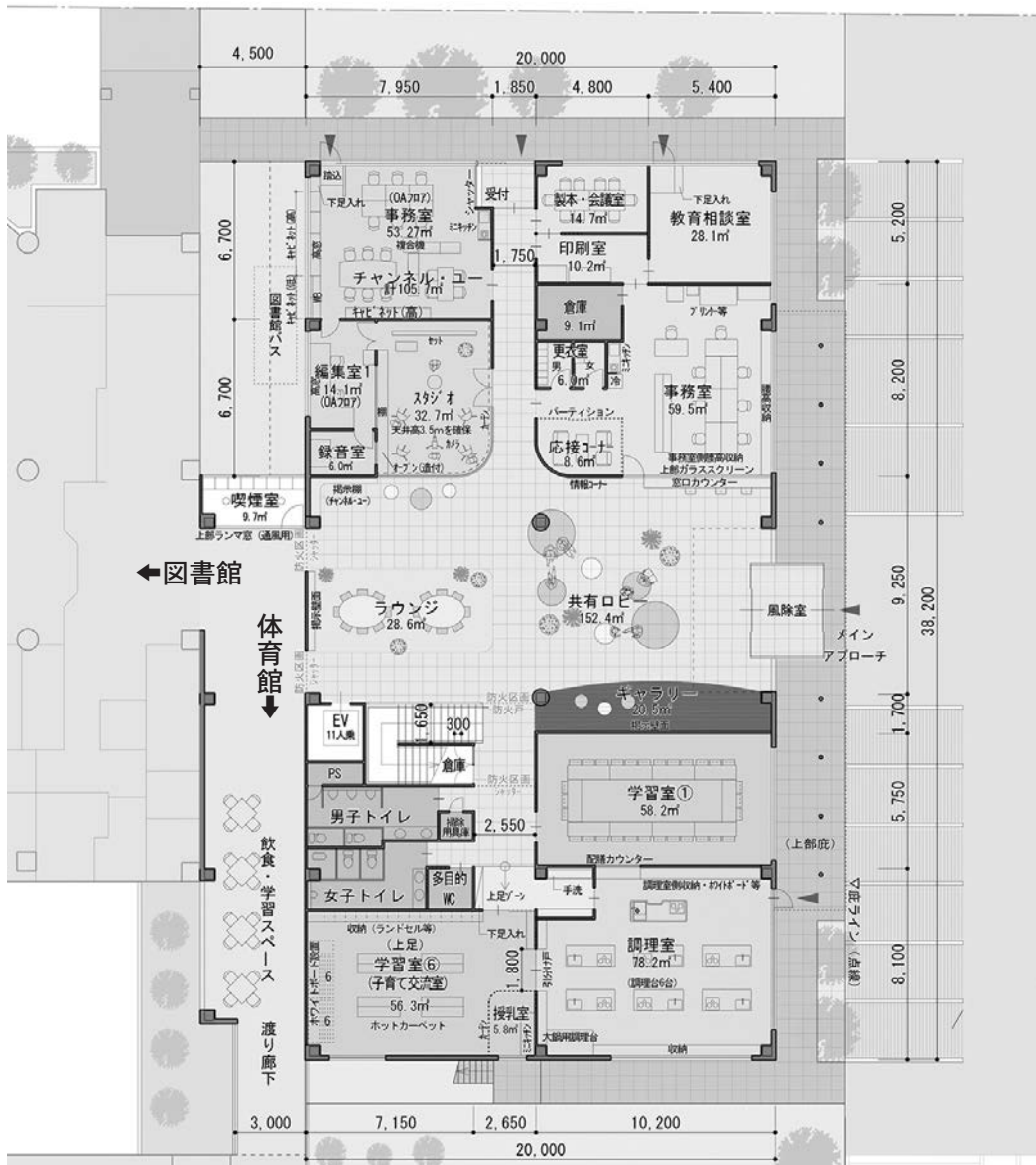
図案公開!!

民館改築事業

中央公民館の改築事業がよいよ目に見えるものになってきました。これまで、ワーキングシヨップ委員会や建設委員会で何回も協議を重ねてこられ、その中での様々な意見、要望等をまとめられて今回新

しい公民館の平面図案が一般に公開されました。これまで「公民館の役割・公民館とはどのようなところなのか」を根底において、新しい公民館の施設、部屋等が考えられました。整備計画の

願いである「みんなの公民館」「集い、学び、結ぶ、夢や憩いの実現の場」「人にやさしい」公民館となるよう多くの皆さんの意見・思いが詰まっています。



新しい松川中央公民館の特徴

1. 世代を超えたいろいろな人たちが自由に気軽に集える公民館
 - ①ゆったり使える広い1階のロビー、ラウンジ、2階のラウンジ
 - ②光を感じ、明るいロビーを演出するガラスカーテンウォール
 - ③親しみやすく利用しやすい窓口カウンター
2. 生きがいの場・文化の香りのする公民館
 - ①みんなの作品を展示する専用ギャラリー
 - ②メディア文化を感じるチャンネル・ユーオープンスタジオ
3. 町民の多様な学習に対応できる、学びの公民館
 - ①多目的に使えるホール
 - ②6つの学習室を設置
 - ③会食できるスペースとつながる調理室
4. バリアフリーの公民館
 - ①下足化とエレベーターの設置
 - ②多目的トイレの設置
 - ③広い底の設置

いよいよ平面 松川町中央公



3階平面図



2階平面図

パブリックコメント への「意見」を

平面図案について、広く町民のみなさんから意見を集め、意見を踏まえて参考にするという趣旨のもと行われます。

教育委員会生涯学習課より公表される資料についての意見を様々な方法で提出することが出来ます。

募集期限は8月8日(金)までとなっています。

公表される資料、意見の提出資格、提出方法については教育委員会生涯学習課へお問合せください。

施策案等の公表場所

- ・松川町中央公民館
- ・松川町役場および各支所
- ・松川町ホームページ

お問合せ先

教育委員会生涯学習課
(中央公民館内)
電話 36-2622

木から木への空中移動を 真剣に遊ぶ！

～フォレスト アドベンチャー体験記～



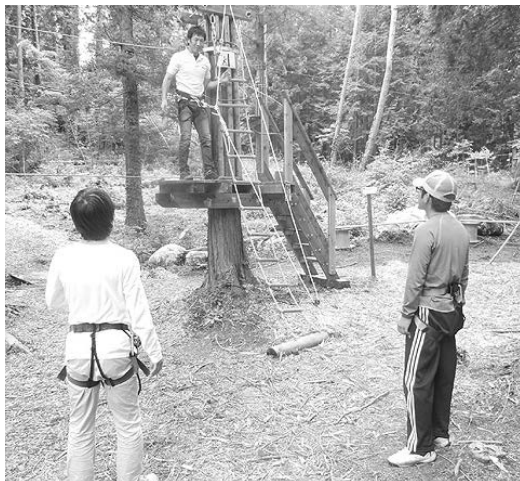
今月オープンした「フォレストアドベンチャー・松川」を本誌編集部員が体験してきました。あまりの楽しさに、思わず子どものようにはしゃいでしまいました。

～体験はプレオープン期間中～



ハーネス装着完了

フォレストアドベンチャーは森林を活用したレジャー施設です。フランス発祥で、日本では松川町が15ヶ所目ということです。意外にも、森林の多い信州では、白馬村に似たものもあるようですが、フォレストアドベンチャーとしては松川町が県内初です。木から木へ、高いところを



ブリーフィングは真剣に聞きましょう

いろいろな方法で渡っていく森の遊びです。高さは10m〜12mほどあるので落ちたら大変です。そこで身を守るためのハーネスを装着して遊びます。ただしハーネスを着けていれば絶対安全ということではなく、木の上での安全確保は自らが行わなければなりません。そのため遊ぶ前にはインストラクターからブリーフィング(安全講習)を必ず受けます。ちょっとコワイですが講習のとおりに行けば安全です。

体験してみると、森の中で



疾走感いっぱいのジップスライド

遊ぶ楽しさ、高いところを渡るドキドキ感と、自分の安全は自分で責任を持って守るという真剣さが入り混じり、終わったあとは充実感と清々しさでいっぱいになりました。森の中に4つのコースが設けられ、1つのコースは200〜250m。4つ全てのコースをあわせると1000mほどになります。各コースの最後は、ぶら下がりスライダー(ジップスライド)で降りてきます。4コース目のジップスライドは150mの長さがあり圧巻で

遊ぶ楽しさ、高いところを渡るドキドキ感と、自分の安全は自分で責任を持って守るという真剣さが入り混じり、終わったあとは充実感と清々しさでいっぱいになりました。森の中に4つのコースが設

す。
かなり体力も使うので良い運動にもなります。次の日は筋肉痛で余韻に浸ってください！

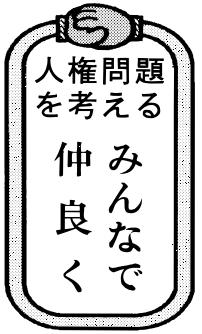
ご予約・お問合せ

電話

080-6936-8632



木から木へ、バランスをとりながら移動していきます



松川中学では、6月18日に校長講話がありました。「泥棒、他人の物を盗むことと、悪口を言うことと、どちらが悪いか」というお話でした。

生徒の生活記録から校長講話の感想です。

○校長講話で校長先生が「泥棒」と「悪口」の話をしてくださいました。どちらが悪いかわかれると法にふれる「泥棒」かなと思いましたが、泥棒では失う物があっても取り返せるかもしれないと思いました。しかし、「悪口」は悪口を言っていた人の信頼が薄れるし、命を落としてしまう人もいるので「悪口」の方が悪いなと思いました。悪いことをしたら必ず自分に返ってくると思うのでやらない方がいいし、自

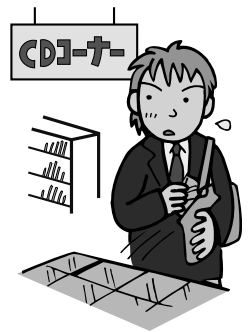


分もやらないようにしたいと思っています。

○泥棒と悪口、どっちが悪いのかという話で、私は絶対に泥棒の方が悪いでしよって思いました。でも、校長先生の話を聞いて、その考えは違っていたのかなと思いました。泥棒に入られて何か大事なものをとられても、命を落とそうと考える人はいません。でも、悪口を聞いて辛いなと思つて命を落とした人はたくさんいると聞いたことがあります。だから、悪口の方が本当はいいなかつたんです。人は自分の言葉で励ますことも、傷つけることもできます。もつと、言葉を大事にしていきたいなと思いました。

○校長講話は泥棒と悪口を言う人とどちらが悪いかというお話でした。よくよく考えてみると悪口を言う人の方が泥棒より人を傷つけているなと思いました。例えば、悪口を言うことが人間の本性でもダメなこととはダメなんだと実感しました。

○泥棒と悪口のお話でした。泥棒は物を盗んでいく。それ



によって盗まれた方は何か物を失うけれど、命を絶つたりはしない。でも、悪口は相手の心に一生残っていく。ひどい時は自殺へ追い込んでしまったりする。どっちもしてはいけないことだけれど、悪口の方が人の命を奪つたりするの

で怖いと思いました。

○悪口を言う方は軽い気持ちだと思ふけれど、言われた方はとても嫌な気持ちになると思ふます。悪口を言わないようにしたいです。

○校長講話があり、「泥棒をするのと悪口を言うのはどっちが悪いか」ということについての話でした。泥棒は盗んだ人と盗まれた人がその時傷つきますが、悪口はずっと言われた人の心に残ってしまうので、言わないようにしていきたいです。「ありがとう」と心をこめて言うことができるよ

うな人になりたいと思ひました。

武田信玄狼煙会 加入者の募集

上下伊那・諏訪には、「武田信玄の狼煙から信州並びに近隣県の歴史を学び、共有の財産として地域の連携と絆を大切にに取り組む」という目的で組織されている『武田信玄狼煙会』があります。現在、20を超える各種団体（公民館・愛護会・保存会・実行委員会）が加盟しています。

主な活動は、年1回の狼煙上げと狼煙場見学です。会費は無料です。

狼煙に興味ある方、歴史(地方史)に関心ある方、参加して、狼煙を上げたり郷土の歴史を学習したりしてみませんか。

申し込み・問い合わせは
中央公民館へ（電話36-2622）

毎月第3日曜日は家族ふれあう 「家庭の日」

松川にひびけ、子どもの歌声プロジェクト 第2弾

夏休み子ども合唱セミナー

歌って、作って、音楽を食べちゃおう
参加者募集！

主催 松川町公民館自主企画講座「松川町少年少女合唱クラブ」

日 時：平成26年8月7・8・9日（木～土）
7・8日15：00～17：00 9日13：00～18：00

場 所：松川町民体育館 音楽室
松川町中央公民館 大会議室・調理室

対 象：小学2年生～中学3年生まで 定員20名

参加料：2,000円（7日に集金します）

持ち物：えんぴつ、水筒（9日のみエプロンと三角巾）

内容：合唱講座一楽しく、お菓子く（おかしく!）、歌う3日間
※詳しくは、下記申込先までお問合せください。

講師：声楽家（ソプラノ）堀内千鶴子 先生
声楽家（メゾソプラノ）堀内千咲 先生

申込方法：電話、FAXまたはメールで、①氏名②学校及び学年③保護者氏名④連絡先をご連絡ください。

申込先：松川町中央公民館 電話：36-2622 FAX：36-6620
メール：matsukawa.harmony@gmail.com
（松川町少年少女合唱クラブ）

夏バテ防止に

スポーツ

第23回松川町混合ダブルスバドミントン大会

6月8日(日)に町民体育館にて第23回松川町混合ダブルスバドミントン大会が17チームの参加で開催されました。結果は次のとおり。

優勝

中村祐也・松下佳世
(福与B C)

準優勝

中塚 駿・宮崎真理子
(福与B C)

第3位

桃澤佳侶・清水菜芳
(福与B C)

〈たのしむブロック〉

優勝

広沢年彦・佐藤 愛
(福与B C)

準優勝

小林 駿・佐藤千佳
(上片桐B C)

第3位

櫻井 誠・下澤智子
(上片桐B C)

長野県ゲートボール選手権 南信大会

6月15日(日)に伊那富士塚公園にて長野県ゲートボール選手権南信大会が開催され、松川チームが出場しました。

松川チームの結果

予選2位

敗者復活戦

松川17対茅野12で勝利

この結果、8月31日(日)に松本で開催される長野県知事杯争奪長野県ゲートボール選手権兼全国ゲートボール選手権予選大会の出場権を得ました。



生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

その三十三

春の野鳥観察(2)

△前号の続き▽

野鳥観察会の2日目です。前夜泊まった方と2日目参加の2名の方もそろって、いよいよ探鳥会の始まりです。好天に恵まれた春の朝、周囲の林からは賑やかな鳥の声が聞こえてきます。まず出会ったのが、ホオジロとカワラヒワです。そんなに派手ではありませんが、木のてっぺんで力一杯鳴く姿はかわいいものです。

次に、4月にあらかじめ架けておいた巣箱を覗いてみると、シジュウカラのお母さんがコケのお布団の真ん中に座っています。きつとお腹の下で卵か雛を温めているのでしよう。目をパチクリしています。逃げようともせず座っている母鳥を、驚かせないように静かにふたを閉めて私たちはその場を去りました。

少し歩くと芝生の生えている広場に出ました。そこで、朝飯を食べながら空を見てみると、突然大きな鳥が林の向

こうからフワーと上空に舞い上がり、ゆっくりと旋回を始めた。ノスリです。タカが大好きな真斗君は「ノスリだ、ノスリだ」と大はしゃぎ。

小鳥が怒った

再び林の鳥の観察を始めました。姿をはっきり見るために、CDプレーヤーからその鳥の声を流し、それに反応して近づいてくる鳥を観察することにしました。まずオオルリです。最初は遠くで鳴いていたのですが、だんだんそばにやってきて、近くの木のてっぺんに止まって体を揺らしながら大きな声で鳴き始めました。肉眼でも背中美しい瑠璃色を見ることができました。

次はキビタキとセンダイムシクイです。これらの鳥はCDから声が流れると、すぐに林の中から飛び出してきて、近くの木をせわしく飛び回りながら怒ったような声で鳴き続けます。キビタキの美しい黄色い胸を見たり、センダイムシクイの最後の「グイー」という声を聞いたりして、彼らとの出会いを楽しみました。また、囀りによってよそ者が侵入したことを知ると、怒ったように侵入者に近づいてき

て、大きな声をあげながら、追い出そうとしました。鳥の社会の掟を見たような気がしました。

子育てをするハヤブサ

次に、私たちは町の車で小渋ダムに向かいました。お目当ては小渋ダムの岩場で子育てをしている「ハヤブサ」です。ダムへ到着すると、今まで調査を続けている方が、ハヤブサの子育ての様子を超望遠レンズのカメラで撮影して、テレビ画面へライブで流してくれました。かわいらしい白い雛がメスの陰から出てきたり隠れたりする様子や、親が餌を持ってくる場面が映し出され、わくわくして見ていました。その後、ハヤブサのオスがダムの上に止まっている姿や空へ舞い上がって餌を探している様子を観察することも出来ました。またまたタカの好きな真斗君は大喜びでした。思う存分鳥を観察出来た2日間の野鳥観察会でした。



ハヤブサ 撮影：角屋明美



消防団 第一分団 サービスDay



6月1日(日)交流センターみらいで、地域や家族のみなさんに消防団員が屋台でおもてなしをしました。日頃の感謝の気持ちを込めて初めて行われました。



2022年

長女が結婚しました。名古屋のホテル勤めで、人様の結婚プランを考えていた娘がようやく自分の結婚を決めたんです。二人でいっしょに報告に来た後、しばらくは何の連絡も無し。どうかしたのか？と主人も心配する始末。昔を思い出すと、結婚式場を決める時から引き出すなどの内容まで、本人達より親の(特に母親)意見が大きかったように覚えていますが、そうこうしているうちに、日時、場所(もちろん勤め先のホテル)招待する人のリストなどの打ち合わせをしようとする連絡がありました。電話で済ませて、顔を合わせたのは娘の衣装合わせの時間と結婚式当日。時間に追われるように支度をし、お似合いの二人の姿にゆっくり目に向けて余裕もなく結婚式場(ホテルのロビー)へ。感激もっぱいなのに、着慣れない和装で肩がパンパン。披露宴会場で少し気が抜けるかな、と思っていると、会場入口で新郎新婦、両家の両親が皆様を迎える挨拶を。披露宴の後でというのは知ってるけど初めもするんだな、となんとなく感心したりして。披露宴も二人の友人、同僚がほとんどで、親族テーブルは3卓。上司と親族にお酌をしたら後は食べたり飲んだり。自分の頃は、顔を見た事あるけど誰だっけ？みたいな親戚がいつぱいいましたね。内容も歌・踊りなどのパフォーマンスは無く二人と話したり写真をとったりのふれ合いで終始しました。最後に皆様に、心を込めての挨拶でお送りし長かった一日が終わりました。すっかりした二人を頼もしく感じられた嬉しい日でした。(宮下和子)

公民館報
「まつかわ」
第 609 号
平成26年 7月15日
発行所 松川町公民館
責任者 矢澤 登
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)